

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年10月05日

事業名:	困難を抱えた10代にLINEで相談事業
資金分配団体:	公益財団法人 信頼資本財団
実行団体名:	認定NPO法人 D×P
実施時期:	2020年5月～2021年9月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	不登校や高校中退者、進路未決定の10代、経済的困窮の10代、ひとり親の10代

I. 事業概要

事業概要

経済的困難やひきこもり、障害などの背景で孤立しやすい10代に、LINEで相談を行います。オンライン上で気軽に生活相談や進路や就職に関する相談ができる仕組みをつくり、ひとりひとりの特性に合ったつながりと、本人が次のステップを踏めるよう働きかけます。直近の生活が逼迫した相談者には、食糧支援を行ない、スキルをつけたい相談者にはパソコン支給をします。虐待、自殺など重たい相談の場合は自治体、企業とも連携し、次の一歩へとつなげます。

II. 進捗報告の概要

総括

度重なる緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響により、10代の若者に様々な経済的困窮の状況や、精神的な負担のしわ寄せが来ている実態に出会い、向き合ってきました。これまでは、学業にプラスしてアルバイトの収入を得ながら学校に通うことができていましたが、このコロナ渦で、特にアルバイトや非正規雇用で生計を立てている若年層は、安定した収入を得ることが非常に困難になっています。そのため、「学費が払えない」「ライフラインが止まった」「家賃を滞納して督促が来ている」「1週間まとめに食事ができていない」など様々な経済的な相談に応じてきました。また、経済的な困窮からの不安による、精神面への負担が増えている声も聞いています。「このままの状況が続くと、学費はもちろん生活費を工面することも難しい」「バイトに何回も応募しているのに落ち続けている」「買い物に出るのが億劫になってきた」「オンライン授業ばかりで友だちができず、自分のことを話せる人がいない。地元に戻りたい。」「身近な人だからこそ、生活や家族のことを相談することが出来ない」。自分のことを話せる人との繋がりを作る機会が分断されることによって精神的に参ってしまい、状況によっては医療やカウンセリングを受けるよう勧めることもありました。私共としても、今の状況や感じていること、考えていることなどを、できるだけ声掛けを行うよう心がけました。こういった、経済的・精神的の両側面のサポートを行った5ヶ月間でした。

Ⅲ.活動実績

アウトプット(今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
①困難を抱えた 2000 人の 10 代がユキサキチャットに登録する。 ②ユキサキチャット登録者の中で、さまざまな困難な状況を抱える 10 代 1000 人の相談に応じる。 ③相談後、なにかにつながった回数(ネクストアクション数)は 1000 回となる。 ④相談事業のノウハウを他団体に共有する研修イベントを 10 人(団体)に実施する。	5 月から 9 月までの成果 ①ユキサキチャット登録数 1579 名 ②相談者実人数 729 名 ③ネクストアクション 714 回 ④他団体研修_実施団体数 4 団体(8 人)

活動	進捗状況	概要
①ユキサキチャットにて不安や困りごと、進路や就職の相談を実施 ②毎月のべ 20 人～30 人に食糧支援 ③PC 寄贈の募集と配布 ④他団体への研修イベント実施	5 月～9 月 ①ユキサキチャット 相談者実人数 729 名 ②食糧支援 累計 193 名 420 箱(12600 食) ③PC で寄贈・配布数 ・寄贈数 40 台 ・配布数 45 台(昨年度在庫繰越あり) ④4 団体	ユキサキチャットでは、メイン事業である不登校・引きこもり状態にある 10 代の進路相談や、コロナ禍における生活の相談を受けています。不登校・引きこもり状態の相談は 19%、進学・就職については 22%、現金給付・食糧支援などの生活についての相談は 41%となっています。 食糧支援や現金給付は、年度当初の計画を大幅に上回る問い合わせをいただき、追加予算を計上しながら対応しています。 PC 寄贈は、プログラミングをやってみたい、パソコンを使った仕事をしたいなど希望があるが、経済的に自分の PC を持つことができない環境に居る 10 代の方に渡しています。 他団体への研修は、それぞれの団体が持つ専門性を活かしつ、新事業としてオンラインでの相談の開設を検討している方向けに研修を実施し、相談対応のノウハウ提供も行っています。

IV. 事業実施後(1年以降)に目標とする状態への所感(中間時点)

自由記述

来年度以降も、引き続き現在のコロナ禍の状況は続き、10代の若者にとって厳しい状況となると予想しております。具体的には、①家庭の収入減により希望の進路を諦める ②一人暮らしの学生を支えていた家庭の収入状況が悪化し、卒業できないまま中退を余儀なくされる ③アルバイト・フリーターで生計が立てられなくなった ④日常生活の不安を相談出来ないまま精神疾患を患い、引きこもり状態になる ⑤家庭で親御さんと過ごす時間が増えることによるトラブル(虐待・家庭不和など)の増加、など想定しています。引き続き、不登校・引きこもり状態にある10代の進路や就職の相談を受けつつ、コロナ禍特有の課題解決に向けた新たな取り組みを模索します。8月には、オンライン上で雑談やテーマを設けた対話による居場所づくりに向けた施策試しました。現状の現金給付や食糧支援の今後の運営方針について検討中です。

また、相談の中でヤングケアラーの状態にあり、経済的に困窮しているケースや、緊急を要する虐待を受けているケース、過度な自傷行為、OD(オーバードーズ)をしているケースもありました。相談を開設している中で流入してくるケースで、他の相談機関で受け取れていない相談について今後受け取れるかどうか検討を続けていきます。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	15,656,232	¥0	1,404,994	8.97%
	管理的経費	¥0	2,343,768	¥0	756,117	32.26%
合計		¥0	¥0	¥0	¥0	%

補足説明

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

従来の不登校・引きこもりの相談には無かった相談内容の多様化・複雑化によって検討されるリスクについて、都度慎重に判断をしている状況です。現金給付や食糧支援は、SNSを利用して広報をしている性質上、どうしても対象外の方やなりすましの問い合わせが紛れ込んで登録をしてきます。対象年齢の方であるかの判断や、食べ物の送付先が本人の生活を営む確からしい場所であるか、問い合わせを頂いたもののお断りをする場合に起こりうることのリスク低減、同居している人に搾取されない手法で本人に届ける方法など、試行錯誤を続けています。現在では、問い合わせを頂いた方ほぼ全ての人にビデオ通話面談を実施し、身分証明書や公共料金の明細などご提出いただくようにしています。また、個人情報保護の観点から、身分証明書の提出の際は、LINE上ではなくeKYCのシステム(オンラインの本人確認システム)を導入し、大切な相談内容を扱う団体としてセキュリティ一面の向上にも取り組みました。

Ⅶ. その他

自由記述

この度は、助成いただきありがとうございます。コロナ禍に入り、日々情勢やニーズの変化を感じながら事業に取り組んでおります。事業の課題解決に向け、新しい取り組みや他団体との連携を模索していきます。これからも世の中に隠れ潜んだ課題を見つけ、他の団体で取り組めないようなことを実施出来るよう邁進いたします。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	有	Yahoo ニュース https://www.dreampossibility.com/news/2509/ FNN プライムオンライン https://www.dreampossibility.com/news/2542/ 毎日新聞夕刊 https://www.dreampossibility.com/news/2528/ 市民の意見 https://www.dreampossibility.com/news/2622/ 「こころの時代～宗教・人生～その言葉が道をひらく」 https://www.dreampossibility.com/news/3639/ TOKYO FM「ONE MORNING」 https://www.dreampossibility.com/news/3712/ 神戸新聞 https://www.dreampossibility.com/news/3946/
広報制作物等	有	Note「ユキサキチャット」 https://note.com/yukisakichat/ 4度目の緊急事態宣言が出ている 21 都道府県にお住まいのみなさんへ。生活が不安な 15～25 歳の人にユキサキチャットからお金を届けます。必要な場合は 4 万円追加も。 https://note.com/yukisakichat/n/necc422e05c96 パソコンをもらって、やりたいことがある 10 代を募集！ https://www.dreampossibility.com/news/3304/
報告書等	有	公的支援が届きづらい若年層-コロナ禍で困窮する若年層の約6割が借金や滞納を抱えています【#ひとまずごはん レポート】 https://www.dreampossibility.com/times/3771/

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会 は定款の定める通りに開催されていますか。	定款の定める通りに開催 しています。総会1回、理 事会は理事長が必要と 認めた時に開催。	<p>【社員総会】</p> <p>2021年5月20日</p> <p>2020年度事業報告並びに活動決算承認の件、2021年度事業計画並びに活動予算承認の件、役員退任の件</p> <p>【理事会】</p> <p>2021年5月19日</p> <p>通常社員総会開催の件</p> <p>2021年5月20日</p> <p>2020年度事業報告並びに活動決算承認の件、2021年度事業計画並びに活動予算承認の件、役員退任の件</p>
2. 内部通報制度は整備されていますか。	整備しています。	認定NPO法人D×Pにまつわる、不正行為・ハラスメント・その他法令に違反する行為を見つけた時の窓口をつくっています